

# 町長所信

(要約)

現在牟岐町は、南海トラフ地震対策、及び雇用拡大と産業振興を目的とした地域活性化に全力で取り組んでいます。

防災対策では、いつ南海トラフ地震が起こるかかわからないと言われる中、一刻も早く海部病院を安全な高台に移すとのことで、病院



新しく完成したヘンロ小屋

用地造成工事が本格的に始まっています。用地造成が完了するまでの間、工事に影響を受ける地域の皆様方には、本当にご迷惑をお掛けいたしますが、大地震、大津波の後、一人でも多くの人命を救助するため、懸命に工事を進めていることをご理解いただきご協力をお願いしたいと思います。

次に地域の再生と活性化ですが、本年度は室戸阿南海岸国定公園指定50周年及び弘法大師四国八十八ヶ所開創1200年の年であり、観光振興を目的として、県をあげて各種イベントに取り組んでいます。牟岐町でも、遍路小屋プロジェクトが進められ、牟岐町お接待の会を中心とする皆様のご尽力で7月初旬に遍路小屋が完成すると聞いています。遍路小屋の完成を機に、一層お遍路さんに喜んでいただけるだけでなく、町の活性化の一助となるものと期待しています。

また、小学校統合により、廃校となった旧河内小学校と旧牟岐小学校に活性化センターを開設し、過疎地の再生に向けた各種取り組みを、この牟岐町から発信したいと考えています。町内外の有志に積極的にご参加いただくとともに、起業家や事業者への情報提供や広報活動、インターネットによる通信販売を始めとした販路の開拓、地元の方々の連携の模索などを検討し実施していただきたいと考えています。

特に力を入れていただきたいのは、地域あるいは町が一丸となった取り組みの開始です。美波町、海陽町、阿南市在住の皆さんの力もお借りしながら、地域一丸となった再生を開始する必要があると考えています。今後は、過疎化と少子高齢化で、働き盛りの人口が減少する中、また、エネルギー資源の高騰やTPPなどにより、一次産業の存続が厳しくなる中、地域がそれぞれを最大限活用するとともに短所を補い合う一丸となった取り組みが不可欠であり、狭い地域を長所とし、地域資源の最大限の活用、あるいは人間力の最大限の活用により、活性化を図るしかないと考えています。

牟岐町の取り組みとして、事業に関わる人も関わらない人も、自分のため、あるいは他人のため、また牟岐町全体が元気になるため『保養と健康』というテーマを徹底的に考え行動していただきたいと思っています。特に、飲食店など食べ物を販売・提供される方は、町内の人が食べて元気になる健康食の開発に全力で取り組んでいただきたいと思います。そして、それも前面に出しPRしていただきたいと思っています。特別のお金をかけずにできる、狭いエリアだからできる、皆が取り組める共通のテーマが『保養と健康』だと思います。一次産業が元気がない中、牟岐町が元気になるためには、町全体が一丸となり個性を創造し、競争力を付けていく、そして牟岐町を『保養と健康』のテーマパークのようにすることが、牟岐町が元気になる道だと思います。



中村婦人会の花畑